

◎共生社会の実現に向けて

1. 心のバリアフリー

「心のバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです（「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画（2017年2月ユニバーサルデザイン 2020 関係閣僚会議決定）」より）。

そのためには、一人一人が具体的な行動を起こし継続することが必要です。各人がこの「心のバリアフリー」を体現するためのポイントは、「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」では、以下の3点とされています。

- (1) 障害のある人への社会的障壁を取り除くのは社会の責務であるという「障害の社会モデル」を理解すること。
- (2) 障害のある人（及びその家族）への差別（不当な差別的取扱い及び合理的配慮の不提供）を行わないよう徹底すること。
- (3) 自分とは異なる条件を持つ多様な他者とコミュニケーションを取る力を養い、すべての人が抱える困難や痛みを想像し共感する力を培うこと。

2. 障害の社会モデル

「障害の社会モデル」とは、「障害」は個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によって創り出されているものであり、社会的障壁を取り除くのは社会の責務である、とする考え方です（「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」より）。

「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」では、「障害の社会モデル」をすべての人が理解し、それを自らの意識に反映させ、具体的な行動を変えていくことで、社会全体の人々の心の在り方を変えていくことが重要であり、また、この「障害の社会モデル」の考え方を反映させ、誰もが安全で快適に移動できるユニバーサルデザインの街づくりを強力に推進していく必要がある、とされています。

3. バリアフリー教室を実施する趣旨、目的

高齢者や障害者などの自立と社会参加の要請へ適切に対応し、高齢者や障害者などが公共交通機関を円滑に利用できるようにするため、社会全体での施設整備（ハード面の施策）に加え、実際に高齢者や障害者への手助けをしやすい環境づくり（ソフト面の施策）を進めることも必要です。

このソフト面の施策のひとつとして「バリアフリー教室」の実施が挙げられます。これにご参加いただくことにより、高齢者や障害者などの実生活での困難にまつわる体験談を傾聴するとともに、これらの方々に対する介助体験を通して、バリアフリーについて理解を深め、福祉・ボランティアに関する意識を醸成し、国民一人ひとりが、高齢者や障害者などに対して自然に快く手助けできる「心のバリアフリー」社会の実現を目指します。

4. 中部運輸局管内バリアフリー教室の実施状況

◎静岡県

開催日程：令和4年9月8日（木）
開催場所：三島市立長伏小学校・体育館等
主催：中部運輸局静岡運輸支局
三島市
社会福祉法人 三島市社会福祉協議会
協力：株式会社 東海バス沼津営業所
参加者：小学4年生 44名

障がい者の方から講話をいただいた後、各グループに分かれて、車いす体験、ノンステップバス乗降体験、バリアフリークイズに取り組みました。初めて経験した事ばかりで、驚いたり対応に困ったりしている様子が見られましたが、「困っている人がいたら声をかけたい。」といった感想もありました。

講話



ノンステップバスの乗降体験



車椅子体験



バリアフリークイズ



◎福井県

開催日程：令和4年11月18日（木）
開催場所：坂井市加戸小学校
主催：中部運輸局（交通政策部バリアフリー推進課）
協力：社会福祉法人 坂井市社会福祉協議会
京福バス 株式会社
公益社団法人 福井県バス協会
参加者：小学4年生 25名

障がい者の方から講話をいただいた後、各グループに分かれて、視覚障害体験、車椅子体験、ノンステップバス乗降体験に取り組みました。体験前は緊張しているようでしたが、体験後には「目をつぶって行動するのは怖かった。」「車椅子でバスに乗るのは難しかった。」「バリアフリーがいっぱいの町にしたい。」「困っている人がいたら助けてあげたい。」といった感想がありました。

講話



視覚障害体験



ノンステップバスの乗降体験



車椅子体験



◎岐阜県

開催日程：令和4年11月25日（金）
開催場所：国営木曽三川公園 木曽三川公園センター
主催：中部運輸局（交通政策部バリアフリー推進課）
協力：中部地方整備局 木曽川下流河川事務所
一般財団法人 公園財団 木曽三川公園管理センター
参加者：木曽三川公園近隣自治体職員
（岐阜県海津市・愛知県あま市・愛西市・津島市）
木曽川下流河川事務所職員 中部地方整備局
木曽三川公園管理センター職員
中部運輸局 愛知運輸支局 計21名

障がい者の方からの実体験を踏まえた講話に加え、車椅子体験及び視覚障害体験をしていただきました。「貴重な体験ができた」との声もあり、これらの体験を各自治体のバリアフリー行政に生かしていただければ幸いです。

講話



視覚障害体験



車椅子体験



開催日程：令和4年12月3日（土）
開催場所：カラフルタウン岐阜
主催：中部運輸局岐阜運輸支局、一般社団法人岐阜県自動車会議所、
独立行政法人自動車事故対策機構岐阜支所
協賛：岐阜県タクシー協会等
参加者：8名（一般）

中部運輸局岐阜運輸支局等が主催する「はたらくのりものと自動車安全・環境フェスタ」にて、UDタクシーの車椅子乗車体験を実施しました。「降りるときの方が怖い。」「これなら車椅子を利用することになっても安心して外出できる。」との声がありました。

